

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回 所沢市保健医療計画推進委員会
開 催 日 時	令和6年8月5日(月) 18時30分から20時30分
開 催 場 所	所沢市役所 8階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	※別紙 「所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿」 のとおり
欠 席 者 の 氏 名	
説明員の職・氏名	様式第2号発言者のとおり
議 題	(1) 委員長及び副委員長選出 (2) 所沢市保健医療計画について (3) 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール(案)について (4) 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(第3章～第5章)の確認について (5) 次期計画策定調査について (6) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会条例 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会の公開及び会議録の取扱いについて ・ 資料1-1 第2次所沢市保健医療計画について ・ 資料1-2 【一部抜粋】第2次所沢市保健医療計画 令和4年度取組状況評価シート ・ 資料2 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール(案) ・ 資料3-1 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(第3章～第5章) ・ 資料3-2 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(第3章～第5章)説明要旨 ・ 資料4 保健・医療等に関する市民アンケート調査の実施について ・ 参考資料 平成30年度実施アンケート調査項目との比較 ・ 資料5 意見シート

担 当 部 課 名	健康推進部	部 長	越智 三奈子
		次 長	小山 貴之
		保健センター長	中村 まさみ
		保健医療課長	河西 秀樹
		保健医療課副主幹	佐藤 征逸
		保健医療課主査	八川 麻紗子
		保健医療課主任	小貫 由依
		保健医療課主任	日野 航介
		健康管理課長	田中 浩文
		健康管理課主幹	小野寺 健
		(こころの健康支援室長)	
		健康づくり支援課長	岩雲 美香
		健康づくり支援課主幹	近藤 真弓
		こども未来部	
	こども家庭センター長	松井 優子	
事務局 健康推進部保健医療課 電話：04(2998)9385			

※別紙 所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	出欠	備 考
1	公募委員	二瓶 広和	○	
2	公募委員	碓谷 栄治	欠	
3	公募委員	小野 向日葵	○	
4	公募委員	丸山 香	○	
5	所沢市医師会 会長	赤津 拓彦	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会 副会長	北田 徳克	○	
7	所沢市薬剤師会 副会長	塚本 京子	○	
8	所沢市柔道整復師会 副会長	吉田 南成	○	
9	所沢市鍼灸師会 会長	原澤 清一	○	
10	所沢市母子愛育会 会長	大里 節子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会 会長	丸山 静香	欠	
12	所沢市スポーツ推進委員会 副会長	須藤 貢	○	
13	所沢市社会福祉協議会 事務局長	黛 浩一郎	○	
14	所沢市介護保険サービス事業者 連絡協議会 会長	米川 智裕	○	
15	早稲田大学 教授	扇原 淳	○	※副委員長
16	知識経験者	瀬能 幸則	○	
17	狭山保健所 副所長	田島 貴子	欠	
18	埼玉西部消防局 所沢中央消防署長	後藤 依左明	○	
19	市民医療センター長	黒木 康富	○	

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（河西）	<p>（開会）</p> <p>本委員会は本市の保健医療に関する施策の推進を目的とし、現在進行中の第2次所沢市保健医療計画について、進捗状況の定期的な点検・評価、及び計画推進に関するご意見をいただくために設置しており、公募による市民の方々や関係機関・関係団体の代表者、学識経験者の皆様に委員をお願いしています。</p> <p>また、現在の計画は令和7年度までとなっておりますことから、今年度から来年度にかけて、令和8年度以降の次期計画策定に向けた審議を行い、皆様からご意見をいただきたいと考えています。</p> <p>（委嘱状交付）</p> <p>（委員改選等により10名の方の変更。黒木委員は市職員のため委嘱状交付はなし。碓谷栄治委員、丸山静香委員、田島貴子委員は欠席連絡あり）</p>
委員一同	<p>（新規委員自己紹介）</p>
事務局	<p>（自己紹介）</p>
事務局（河西）	<p>本日の委員会ですが、都合により3名の委員が欠席されています。出席者が16名で、過半数を超えておりますので、条例の規程により委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>次に、「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき、本委員会の公開、及び会議録について確認します。</p> <p>資料「所沢市保健医療計画推進委員会の公開及び会議録の取扱いについて」に記載のとおり、本委員会は公開とし、「会議録は要約方式」、「発言者は委員名を記載」、会議録は「委員長の承認をもって確定」とさせていただき取扱いでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>（全会了承）</p>
事務局（河西）	<p>ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>ここで、本日の傍聴者の確認をさせていただきます。</p>
事務局（八川）	<p>傍聴者はありません。</p>
事務局（河西）	<p>続きまして、議題（１）委員長及び副委員長選出を行います。選出されるまでの間、仮議長として健康推進部長が進行させていただきます。</p>
仮議長（越智）	<p>所沢市保健医療計画推進委員会条例第５条第１項によりますと、「委員長及び副委員長１人を置き、それぞれ委員の互選により定める」とされています。選出に当たり、どなたかご意見がございましたらお願いいたします。</p>
黒木委員	<p>本日初めて会う方々もおり、なかなか選出が難しいと思うので、事務局の考えがあればうかがいたいのですがいかがでしょうか。</p>
仮議長（越智）	<p>委員長・副委員長選出にあたり事務局の考えや候補者の案等あればお願いします。</p>
事務局（河西）	<p>事務局からご提案申し上げます。今年度から第３次の保健医療計画策定の議論が始まりますことから、前任期中も委員長・副委員長をお務めいただいた所沢市医師会長の赤津委員に委員長を、早稲田大学教授の扇原委員に副委員長をお願いしたいと考えております。</p>
仮議長（越智）	<p>事務局としては、委員長に赤津委員を、副委員長に扇原委員をお願いしたいとのことです。ご意見はございませんか。</p>
委員一同	<p>（全会了承）</p>
仮議長（越智）	<p>それでは委員長を赤津委員に、副委員長を扇原委員にお願いします。赤津委員、扇原委員、よろしくお願いいたします。これにて仮議長の任を解かせていただき、議事の進行を事務局に戻します。</p>
事務局（河西）	<p>それでは赤津委員長、扇原副委員長から一言ずつご挨拶をお願いいたします。</p>
赤津委員長	<p>（挨拶）</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
扇原副委員長	（挨拶）
事務局（河西）	ここからの会議の進行については、規程により委員長が議長となります。赤津委員長、よろしくお願いいたします。
赤津委員長	それでは、まず資料の説明をお願いします。
事務局（河西）	（配布資料の確認） 続きまして、本日の会議の流れについてご説明します。まず議事については、次第に記載のとおりです。なお議題（５）次期計画策定調査については、現在策定の次期計画の重要な基礎資料となりますことから、活発なご意見をいただきたいと思っています。
赤津委員長	それでは、議題（２）所沢市保健医療計画について、事務局から説明をお願いします。
事務局（日野）	（資料１－１ 第２次所沢市保健医療計画について、資料１－２ 【説明箇所のみ抜粋】第２次所沢市保健医療計画 令和４年度取組状況評価シートについて説明）
赤津委員長	第２次所沢市保健医療計画は、令和７年度をゴールとして設定していますので、その目標に対してどのぐらい達成しているかというところが評価のポイントです。 いずれの項目も、専門職の視点、あるいは市民の皆様からの視点で、ご意見をいただきたいと思います。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。
委員一同	（質問なし）
赤津委員長	ないようですので、次にまいります。議題（３）令和６年度所沢市保健医療計画進行スケジュール案について、説明をお願いします。
事務局（佐藤）	（資料２ 令和６年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について説明）

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>スケジュールについての説明がありました。</p> <p>特に第3次計画というところは、所沢市にとっては非常に大きな分岐点となります。中核市を目指す中で保健所の設置もあり、所沢市の行政事務は健康・保健・福祉に関して多岐にわたって増える部分があります。各種の団体の皆さんの協力をいただきながら進めていかないとうまくいかないというのは、容易に想像ができますので、その辺のところも今後の大きな課題になると思います。</p> <p>続きまして、議題（4）第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート（案）の確認【第3章～第5章】について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（日野）	<p>（資料3-1 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート（案）（第3章～第5章）、資料3-2（第3章～第5章）令和5年度取組状況評価シート 説明要旨について説明）</p>
赤津委員長	<p>総論の流れはこれでいいかと思いますが、いくつか補足します。</p> <p>（p. 3 小児科救急医療の医療提供体制について）</p> <p>初期救急医療体制は、市民医療センターが所沢市医師会（以下、医師会）の当番医とともに職員を回して担っており、二次救急医療体制については、西埼玉中央病院がかなりの部分を担っているなど極めて限られた医療機関が頑張っています。そういう中で、小児医療が崩れないようにということがここに反映されています。</p> <p>（p. 4 周産期医療について）</p> <p>所沢市では妊娠・出産後を担う医療機関が非常に限られており、数がどんどん減っています。瀬戸病院を始め、松田母子クリニックや峰の坂産婦人科といったところも受け入れていますが、他については非常に厳しい状況です。リスクの高いケースは西埼玉中央病院や防衛医科大学校病院が頑張っているということで、この地域の周産期医療が支えられています。</p> <p>（p. 5 初期救急医療体制について）</p> <p>初期救急医療体制については医師会でも輪番制をある程度担っています。初期・二次救急医療体制以外にも所沢美原総合病院、所沢中央病院、圏央所沢病院、所沢第一病院などが各分野で地域医療を支えるため</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>に、救急当番の日だけではなく、平時から頑張っているというところは、委員の皆様にも共有していただきたいと思います。</p> <p>（p. 6 第二次救急医療体制について） 二次救急は、先ほど申し上げたような病院の皆様が担っています。</p> <p>（p. 7 目標指標（所沢准看護学院・所沢看護専門学校卒業生（合格者）の市内就職率）の達成率が下がったことについて） 令和4年度は卒業生41人のうち、21人が市内に就職しましたが、令和5年度は30人のうち、市内に就職したのは9人になりました。 医師会では所沢市内の医療機関に就職をしてもらうために、無償の給付型奨学金を出していますが、その希望者が減りました。東京都がさらに手厚い奨学金を出したからです。埼玉県の学校に入っても、卒業後、東京都で働いた場合は奨学金を給付するとのこと。この地域にとっては非常に苦しいですね。これは医療人材だけではなく介護、福祉、保育士も同じです。東京都に就職をすることは悪いとは言えないのですが、この地域で起きていることをぜひみんなで共有しないといけないと思います。</p> <p>（p. 8 在宅医療の推進について） 在宅療養は医療費がかかるため、政策誘導されているかもしれませんが。経済なくして医療はないと岸田首相が発言しています。医療分野は、診療報酬が上がらない非常に苦しい中で、人材が離れています。令和3年から令和6年の看護大学の受験者数をチェックしたのですが、7割に減っています。在宅医療分野には今はお金が回るので、人材が集まりますが、スキルが伴う人がいるかどうかというのが課題としてあるので、そのスキルを上げるようなチェックは、行政が担うべきだと考えます。リハビリテーションについても同様です。 こどもからお年寄り、障害のある方も皆ともに暮らしていくという中で、人工呼吸器がついているような医療的ケア児も、所沢市にはたくさんいます。その人たちの生きる場所や生き方といったことを、行政で考えていかないとはいけません。</p> <p>（p. 10 市民医療センターの地域医療・在宅医療への対応について） 市民医療センターは建て替えを控えており、費用は数十億かかるはず。なので、その費用を使ってでも、所沢市のために必要であるか皆様にもチェックをしていただきたいところ。費用がかかるけれど</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>も、絶対にこの機能が必要だというところを、皆様のご意見をいただきながら判定していかないといけません。</p> <p>ちなみに、ここで地域医療がなぜ出てくるのかというと、病院は診療報酬で成り立っています。病院の診療報酬は、医療のレベルによって変わります。民間病院であれば、診療報酬が高いところを取らないと潰れますが、市民医療センターは公的医療機関のため、どうすべきか、皆さんがきちんとチェックしないといけません。この辺は専門的な知識がないと立ち入れないかもしれませんが、厳しい目でチェックしていかないといけないと思います。</p> <p>小児救急医療体制についてはものすごく頑張っています。本当に頭が下がります。実際に患者さんはものすごく増えています。黒木センター長のリーダーシップがとても素晴らしいと思います。実際に数字にしてみらうともっと分かると思います。</p> <p>（p. 12 市民医療センターの健診事業について）</p> <p>健診事業は市民医療センターの事業の中では今黒字部門のほうです。健診事業の意義は、所沢市の健康を推進するという点と、黒字部門というところで、強化できるかどうかという点があります。</p> <p>（p. 13 所沢市歯科診療所あおぞらについて。）</p> <p>一般の歯科医院では診療が困難な心身障害児者の方などの歯科診療を献身的に受け入れています。だからこそ、費用がかかっても必要であり、公的なところがやらないといけないという意味でとても大切な役割を果たしている部門だと思います。</p> <p>（p. 14 健康危機管理について）</p> <p>これは新しい感染症が発生した時にどうするかというところですね。今回の診療報酬改定は非常に厳しいです。当院では、年間で試算して数千万円の減収です。その中で国はコロナを受け入れるような体制を取りなさいと言っていて、そのために県と協定書を結びました。現在コロナ感染がものすごく増えているのです。</p> <p>対応は医療機関に委ねられており、多くの看護スタッフは疲弊しています。そういう状況なのだということを、皆さんにも知っていてほしい、喉元過ぎれば熱さを忘れるであってはいけないと思います。</p> <p>（p. 17 災害時医療について）</p> <p>大規模災害の場合、防衛医科大学校のような国の組織や大きな医療機</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
原澤委員	<p>関が対応してくれるかというところです。次に考えられるのは、美原総合病院や圏央所沢病院など、民間医療機関がどこまで危機管理について対応してくれるのか。</p> <p>医師会はクリニックが被災したらまちづくりセンターみたいなところに行って支援をするという協定を所沢市と結びましたので、機能すると思います。</p> <p>しかしながら、大規模災害の際には、大きな医療機関が頑張らないといけない。その時はインフラがとても重要です。インフラというのは、燃料とか水とか電気とか、これがないと残念ながら全く役に立ちません。なぜかという、私の病院は東日本大震災の時に計画停電となりました。その時に電気が付いている病院に電話をして、患者を引き受けてくれないかをお願いしたところ、全て断られました。それが現実です。</p> <p>危機管理を担うのであれば、インフラ整備は市が対応するといった制度設計ができるかどうか、地域の防災という意味では重要だと思いません。まだ協定を結んだところで、そこまでの議論は当然できておりません。災害時の保健活動も同様です。BCP（事業継続計画）というものですが、ぜひこの機会に少しお考えいただければと思います。</p> <p>第3章～5章の中では、今申し上げたようなことについて、市民が困らないように、どうか事業を継続しているというまとめだと思って見ていただければと思います。</p> <p>今のところでお聞きしたいことがあります。</p> <p>（資料3-1 4ページ：令和5年度の主な取組実績（1）子育て世代包括支援センターかるがもについて）</p> <p>「子育て世代包括支援センターかるがも」について初めて聞いたので調べてみたのですが、似たような所で、こども家庭センターがあり、業務がよく分からなかったので説明をしていただけると助かります。</p> <p>（資料3-1 4、16ページ：新型コロナウイルス感染症の影響により見送りとなっている項目について）</p> <p>コロナによって見送られている項目について、今後再開の見込みはあるのでしょうか。</p> <p>（資料3-1 12ページ）</p> <p>市民医療センターで人間ドックを受けた方のうち、精密検査対象者の</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長 事務局（松井）	<p>人数を記載しているので、人間ドックを受けた方の人数も把握しているのであれば載せた方がよろしいのではないかと思います。</p> <p>最後に事務局にお願いします。資料3-2の裏面、2で新たに実施した取組が載っているのですが、3-1の方にこの部分をアンダーラインか何かでマークしていただくと、資料が分かりやすくなると思います。</p> <p>担当から今の質問に対しての回答をお願いします。</p> <p>ご質問の1点目、子育て世代包括支援センターかるがもにつきましては、昨年度までは保健センターの健康づくり支援課の中にあつたのですが、妊娠期から子育て期にわたるまで、母子保健や育児に関する様々なご相談をお受けしている場です。保健師や助産師など専門職員を配置して、専門的な見地からの助言・支援をしています。</p> <p>令和6年の4月に組織の変更がありまして、母子保健事業と、児童の虐待等を扱っておりますこども相談センターが一つの組織として、場所は保健センター内になるのですが、こども家庭センターという名称に変わりました。子育て世代包括支援センターかるがもも、その機能はそのままこども家庭センターの中に残っています。</p> <p>令和6年度からは、こども家庭センターの妊娠・出産担当の窓口で事業を引き継ぐ形になります。妊娠届の窓口を一本化しましたので、全ての妊婦と面談をさせていただきまして、その後の妊娠期から出産して、新生児子育て期の相談のところまで、全てこども家庭センターで対応しています。</p>
事務局（河西）	<p>二つ目にご質問をいただいたコロナを契機に中止となっている講演会の関係ですが、市の主催ではなく、国・県主催の講演会への参加になりますので、そちらに応じてという形にはなるのですが、コロナも収まりつつあり、国の計画等が発表されたところですので、おそらくここで再開されるようになると思いますので、その時にはしっかりと共有していきたいと考えております。</p> <p>三つ目にいただいた人間ドックの数字については、現在手元にデータがございませんので次回までに提示したいと思います。</p> <p>最後に四つ目にご指摘をいただいた資料の関係は、確かにおっしゃるとおりですので、アンダーラインを引いて、ここが対象であるという形</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>で分かりやすく伝えたいと思います。</p> <p>せっきく新たに実施した取組があるのであれば、分かるようにすると、更に頑張っているなということが委員や市民に伝わるとと思いますので、その辺は工夫なさった方がいいですね。他にご意見はありますでしょうか。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>
赤津委員長	<p>それではご意見があるようでしたら、後日、意見シートにてご提出いただければと思います。</p> <p>次に、議題（５）次期計画策定調査について説明をお願いいたします。</p>
事務局（日野）	<p>（資料４ 保健・医療等に関する市民アンケート調査の実施について、参考資料 平成３０年度実施アンケート調査項目との比較について説明）</p>
赤津委員長	<p>ありがとうございました。非常に多くの設問で構成されたアンケート調査かと思いますが、調査項目の基本的な考え方として、所沢市独自のものなのか、それとも国が定めたひな形となる調査項目を踏襲したものなのかを確認させてください。</p>
事務局（日野）	<p>基本的には前回（平成３０年度実施）アンケートとの比較ができるよう、設問を大きく変えてはおりません。前回アンケート設問をベースとしつつ、バランスを整えながら見直した上で、新たな国の指標など、今の状況を踏まえて設問を作成しています。</p>
赤津委員長	<p>つまり、ある程度所沢市独自の考えに基づいて作成いただいているということですね。市長が代わり、所沢市総合計画でも「こどもが大切にされるまち」の記載があり、それを踏まえた質問になっていると思いました。</p> <p>ちなみに、診療報酬の観点では、歯科との結び付きが重視されており、生活習慣病の患者さんに対し、医療機関が診療報酬の加算を行うためには、歯科受診の推奨が必要となりました。</p> <p>高齢者の健康維持のためにも、何でも噛んで食べることができる期間を長くしていきたいという思いがあります。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（日野）	<p>このアンケートは非常に多くの市民が対象となりますが、前回アンケートの回収率はどのくらいだったのでしょうか。</p> <p>前回アンケートの回収率は「43.1%」でした。 （第2次所沢市保健医療計画冊子 p.20を参照）</p>
赤津委員長	<p>非常に優秀な回答率ですが、これは無記名のアンケートですか。</p>
事務局（日野）	<p>無記名のアンケートです。</p>
赤津委員長	<p>WEB回答の場合、私自身が回答する際もそうなのですが、未回答項目があった場合に先に進めなかったり、再度システムに入り直す必要が出る場合が何回も続くと、回答への意欲が削がれてしまう経験があるので、その点が気になるところです。</p> <p>このアンケートは何十問も項目があるので、一気に回答した後に先に進めない状況が続くと、回答を止めてしまう人が続出してしまふことを危惧しています。</p> <p>システム上、全て答えなくても回答を進めることができるのか、若しくは全て回答しないと進むことができないかの設定が重要だと思います。</p>
事務局（日野）	<p>全ての設問を必須回答とするのではなく、いくつか任意回答の設定を想定しています。</p> <p>具体的には「性別に関する設問」や「自由意見欄」等は任意の回答を想定しています。それ以外の設問については、これだけの設問があるので、改めて精査する必要がありますが、基本的にはご回答いただきたいと考えています。</p>
赤津委員長	<p>紙での回答の場合、人によっては、例えばいくつかの設問を後で考えて回答しようと保留にした後、その設問を回答し忘れ、そのまま提出してしまうこともあるのではないかと思います。また、前回アンケートでも同様に回答漏れの事例、すなわち、100%の回答ではない事例がたくさんあるのではないかと想像します。</p> <p>このため、WEB回答にした時にも同様に回答漏れの事例が発生することを承知して実施するのか、それとも想定していないのかが気になりました。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（河西）	<p>アンケートに関しては、もちろんできる限り多くご回答いただきたいと考えていますが、例えばその人の状況によっては回答ができない内容もあるかと思しますので、その場合はご回答をいただかなくても大丈夫な旨をご案内する予定です。WEB回答についても、システム上可能かどうか確認が必要ですが、同様の考えで対応していきたいと考えております。</p>
赤津委員長	<p>良い制度設計につなげるためにも、アンケート調査を通じて良い結果が得られることが望ましいと思います。</p>
原澤委員	<p>アンケート全体についてですが、前回アンケートとの比較のためという部分は分かりました。しかしながら、成人の区分について、65歳を境に随分環境は変わるとは思いますが、例えば成人という区分で一括りにするのではなく、高齢者の枠を作り、今回を第1回目として次の調査に活かすという考え方はありませんか。</p>
事務局（日野）	<p>65歳以上の高齢者については、高齢者に関する計画の方で同様のアンケートを実施しております。保健医療計画は対象者を高齢者に特化することは考えておりませんので、前回との比較のために同じ条件で実施できればと考えています。</p>
原澤委員	<p>アンケート調査票の中身で気になった箇所があります。</p> <p>（資料4（区分：中学生・高校生）24ページ：【問4】あなたが所沢市に住んでから何年になりますか。）</p> <p>中学生・高校生の区分で、該当設問の選択肢に、「30年以上」というのがありますので、これはおかしいと思います。</p> <p>（資料4（区分：中学生・高校生）29ページ：【問26】あなたは現在、虫歯はありますか。）</p> <p>同じく中学生・高校生の区分で、虫歯に関する設問があるのですが、歯周病についての質問がありません。最近こどもの歯周病が増えているという話を聞いているのですが、歯科医師会としてはどうお考えですか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
北田委員	<p>15歳以下のこどもでは歯肉炎が増えています。実は現在、虫歯の子はすごく減っています。昭和の基準で言えば、各クラスで虫歯がない子はほとんどいなかったのですが、今は逆に虫歯がある子の方がごく少数です。一方で、歯肉炎や歯並びの状態が悪い子が増えてきていると感じています。</p> <p>その他、食生活や口腔機能不全症について、つまりは、きちんと奥歯で噛むことができない、食事に時間がかかるといったことが問題になってきています。</p> <p>アンケートとしては歯肉炎、要するに「歯茎から血が出ます」等、もっと平易な言葉を用いた方が答えやすいのではと思います。</p>
瀬能委員	<p>全体的には非常に良くできているアンケートだと思います。設問数は確かに多いので大変だとは思いますが、調査票を作成する立場としては、基礎資料とするためには、ある程度設問数が必要になるので、やむを得ない部分かと思えます。WEB回答も可能となり、工夫がされていて非常に良いと思います。</p> <p>細かい点ですが2点ご意見させていただきます。</p> <p>（資料4（区分：成人）11ページ：【問29】あなたは所沢市が居心地が良く歩きたくなるまちであると感じますか。）</p> <p>他の区分でも同様の設問がありますが、「居心地が良く、歩きたくなるまち」という表現について、何か意図があればいいのですが、「居心地が良く」というのは特に不要な表現ではないかと思えます。</p> <p>（資料4（区分：乳幼児・小学生）34ページ：ご記入にあたってのお願い）</p> <p>乳幼児・小学生の区分の「ご記入に当たってのお願い」ということで、本調査票では、「宛名のお子さんについてお答えください」となっていますが、実際に設問を見ていくと、例えば36ページから37ページに掛けては、いわゆる保護者のあなた自身に回答を求めている形にしています。</p> <p>その他、例えば42ページから43ページの設問であれば、お子さんに関連してあなた（保護者）に聞いているのでいいと思いますが、最初にお子さんについて回答してくださいと書くならば、保護者に関する設問は特に必要ないと思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>一方で、当然ながら他の調査や、前回の調査との比較や、サンプル数を増やしたいという意向なども当然あると思いますので、ご記入に当たってのお願いについて、基本的には宛名のお子さんについてとしつつ、設問によっては「あなたについてお答えください」等の一言を加えることで整理ができると思いました。</p> <p>「宛名のお子さん」なのか、「保護者であるあなた」について聞いているのかブレてしまう可能性があるということですね。</p>
事務局（日野）	<p>1点目の「居心地が良く」という表現が不要ではないかというご指摘ですが、こちらは国が示している「健康日本21」の中で、「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」について考えが示されていることから、この表現を用いています。</p> <p>健康推進にあたり、従来のように単に歩くことを推奨するだけでなく、まちづくりの観点からも連携し、ハード面の整備を図ることで市民が自ら歩いてみたいと思える環境を整え、運動量を増やし、健康につなげていくという国の考えを反映しています。</p> <p>2点目の「ご記入に当たってのお願い」についてはおっしゃるとおり、乳幼児・小学生の区分だけが、宛名のお子さんなのか、保護者本人なのか、確かに分かりづらい部分があると思います。</p> <p>冒頭での説明だけでなく、改めて回答者の立場に立って、わかりやすくなるよう調整したいと思います。ありがとうございました。</p>
事務局（河西）	<p>アンケート調査について、冒頭で委員長からこのアンケートは市独自のものなのか、ある程度国の考えをベースとしたものなのかとご質問をいただきました。また、先ほど瀬能委員から施策への反映の話がありましたので補足させていただきます。</p> <p>（第2次所沢市保健医療計画 冊子 3ページを参照）</p> <p>所沢市保健医療計画は、健康日本21等の関連計画や指針等、国の考え方に基づいて設計している部分があります。</p> <p>また、「所沢市食育推進計画」や「『生きる』を支える所沢市行動計画」等、様々な計画を包含していることもあり、どうしても必要な設問があることから、調査項目が多くなってしまう部分がございます。</p> <p>アンケート調査を通じて市民の声を聞く貴重な機会ですので、様々な</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>ご意見をいただきながら、施策に反映していきたいと考えております。</p> <p>例えば健康診断に関する設問であれば、「なぜ受けないのか」という部分もお聞きしたいと考えております。</p>
赤津委員長	<p>多くの人の意見が伺えるのは素晴らしいことだと思います。</p>
扇原副委員長	<p>前回のアンケート調査項目と比較すると、地域づくりの視点から、ソーシャルキャピタルの内容も入っており、健康日本21の考え方も踏まえ、発展的な項目づくりがされたと思いました。</p> <p>（設問：新型コロナウイルス感染拡大前との比較について）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の前と比べてとありますが、例えば60歳以上の方は4年も経てば状況も変わるのではと思います。4年前との比較というのが何を意味しているのかが気になりました。</p> <p>（アンケート調査実施時期について）</p> <p>9月上旬から実施することですが、まだ猛暑が続いています。例えば運動に関する設問について、この猛暑の状況で運動は控えるようにと言われている状況では、直前の生活では「減る」と答えると思うので、調査時期が大きく回答状況に影響すると思います。</p> <p>スケジュール的にも、変更が可能なのかが気になりました。</p> <p>（新規設問案について）</p> <p>二酸化炭素を排出しない、脱炭素という環境面も考えた時に、今は自転車道の整備も進んでいるため、歩くにプラスして、「自転車」というのは大きなキーワードだと思います。</p> <p>まちづくりの観点からも、「歩く」というのは当然入れた方がいいとは思いますが、健康づくりとまちづくりという意味では、自転車も重要なキーワードだと思います。自転車に関する項目をどう入れるかは、国の調査を参考にしながら加えていただけると良いと思いました。</p> <p>（野菜の摂取量と所得の影響について）</p> <p>成人、小学生・中学生、幼稚園の子もそうですが、野菜の摂取量は所得の影響を大きく受けていることが考えられます。</p> <p>主観的な家計の経済状況程度でも十分だと思うので、暮らし向きを考えた時に、例えば次の施策には、低所得者向けの食事の支援など、具体的な取組と結び付けられるような項目があると良いと思いました。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（日野）	<p>1点目の新型コロナウイルス感染拡大前との比較に関する設問を設定した意図について、事務局としても新型コロナウイルス感染症が5類に移行した現在では、確かに現実味に欠ける面もあると考えていました。</p> <p>しかしながら、本設問は東京都の町田市など、他市町村における同様の計画策定に向けたアンケートの中で、本設問と類似の設問を実施したという前例がありました。</p> <p>調査時期が異なるため、どの程度有効な調査結果が得られるかは分かりませんが、新型コロナウイルスは社会情勢上、市民の生活にかなり大きな影響を与えたと思いますので、コロナ禍を経て生活や行動にどのような変化があったのかを把握し、様々な項目とクロス集計をすることで、何か傾向が見えないかということ进行期待し、設問を設定しています。</p> <p>2点目のアンケート調査実施時期について、9月上旬の猛暑ということもあり、回答への影響が懸念されるというのは貴重なご意見だと思います。いただいたご意見も踏まえ、どのように調整ができるのか、改めて検討したいと思います。</p> <p>3点目の居心地が良く歩きやすいまちづくりに関連した新規設問のご提案について、「歩く」ということに着目して先ほどご回答したところですが、健康増進の観点からは、何も歩くことだけではないと思います。市でも健幸マイレージを実施していることもあり、歩くことを特出しした方がいいのではという考えがありましたが、自転車についても検討したいと思います。</p> <p>4点目の野菜の摂取状況について、家計の影響もあるのではないかとということで、それを踏まえた設問がいいのではないかとご指摘ですが、これについては「以下の項目についてゆとりがありますか」という設問を用意しており、主観的な感覚をご回答いただく設問ではあるのですが、この中に「経済的なゆとり」という項目を設けています。</p> <p>この経済的なゆとりの回答結果を様々な他の項目の回答とクロス集計させることで、傾向が把握できれば、計画にも何かしら役立てるのではないかと期待しているところです。</p>
扇原副委員長	<p>ありがとうございます。クロス集計について、例えば具体的に何と何の項目をクロスさせようとお考えですか。また、そのクロス集計にどんな意味があるとお考えですか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（日野）	<p>一例として、例えば成人の問1のところ、「あなた自身について」という基本的な項目（例：【問1】年齢をお答えください）が複数ありますが、これらの項目をクロス集計の軸として考えております。</p> <p>例えば、成人の「問12 あなたは健康だと感じていますか」、という設問について、この項目の回答結果をクロス軸と考えている項目とクロス集計をすることで、年齢や地域などの集団ではどのような特性があるかなどを分析することを想定しています。</p>
扇原副委員長	<p>数字は出ると思いますが、これだけの項目数があると、クロス集計の意味はかなり厳しいと思うので、業者ともしっかりと検討していただければと思います。</p>
事務局（日野）	<p>ありがとうございます。これだけの項目の回答をお願いするからには、クロス集計の意図をしっかりと詰めていく必要があるので、単に聞いてみたいという程度で、とりあえず項目を設けるのではなく、改めて精査の上、市民の皆様からいただいた回答結果をどう生かしていくかが重要だと考えています。</p> <p>次回の委員会では詳細なクロス集計の結果をお示しするのは難しいと思いますが、本日ご意見をいただいたので、具体的にいくつかクロス集計でこんな傾向が見られた、というのがお示しできれば、ご説明したいと考えています。</p> <p>このアンケート調査結果を第3次計画の検討材料として活かしていきたいと思いますので、引き続き皆様からご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。</p>
須藤委員	<p>（設問：（区分・成人）飲酒・喫煙について）</p> <p>成人の方のアンケートは対象が18歳以上の成人となっています。一方で、調査項目として「飲酒・喫煙」の項目があるのですが、日本は飲酒と喫煙は20歳から可能となっています。</p> <p>18歳の成人の方がアンケートに回答する場合、矛盾が生じてしまうのではと思いました。</p> <p>（前回アンケートから削除した項目について）</p> <p>前回アンケートで項目としていた「アレルギー」に関する設問について、今回は全て削除しているかと思いますが、なぜ削除したのかお聞かせください。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（日野）	<p>1点目の飲酒・喫煙の項目については、ご指摘のとおり、18歳以上とすると矛盾が生じてしまいますので、「20歳以上の方のみお答えください」という形で対応していきたいと思えます。</p> <p>2点目のアレルギーに関する設問を削除した理由は、国でも「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」が出ていますが、本計画との関連性の高い健康日本21や国の医療計画においては、アレルギーに特化した言及がなく、アレルギーに関する項目自体を本計画に反映するのが難しいと判断し、今回の設問から削除しました。</p>
赤津委員長	<p>飲酒・喫煙の項目については、実態として未成年の頃から飲酒・喫煙をしている方もいるかと思えますので、難しいところかと思えます。市民からもなぜこんな質問を入れるのかと言われかねないというところで、ご配慮いただいた方が良くと思えます。</p> <p>それでは、時間となりますので、本議題に関する質疑は終了とさせていただきます。ご意見がある方は、後日事務局へ意見シートにてご提出ください。</p> <p>次に、議題（6）その他ですが、事務局から何か連絡事項があれば説明をお願いいたします。</p>
事務局（佐藤）	<p>次回、第2回委員会は10月下旬から11月の上旬を予定しています。開催通知については、改めて送付いたします。</p> <p>会議録は事務局で作成し、委員長の確認・承認をもって、確定とさせていただきます。確定後の会議録は委員の皆様にお送りします。</p> <p>また、先ほどご意見をいただいたアンケートの実施時期について補足させていただきます。第3次所沢市保健医療計画について、来年度中には策定というスケジュールで進めており、事務局としてはアンケート調査については今年度中に完了したいと考えております。</p> <p>このため、策定のスケジュールから逆算すると、この時期とするしかなかったという事情がございます。また、今年の10月から郵便料金が値上がりすることもあり、9月中には発送したいと考えております。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>ありがとうございました。それでは本日の議題はこれで全て終了となります。何か委員の皆様から補足があればいただけますか。</p>
原澤委員	<p>所沢市の健康まつりが残念ながら今年も実施しない、という話を聞いています。できれば来年度は復活をしていただければと思います。これまでに多くの市民が参加し、市民の皆様が健康について様々な体験ができますので、医療関係者としては何とか復活をしていただければうれしく思います。</p>
事務局（中村）	<p>ご意見いただきありがとうございます。これまでと状況も変わってきており、以前と全く同じような対応はなかなか難しいところですが、ご意見もいただきましたので、健康に資するような取組を考えていきたいと思っておりますので、ご理解ください。</p>
赤津委員長	<p>ありがとうございました。それでは閉会にあたり、扇原副委員長よりお言葉をいただきたいと思っております。</p>
扇原副委員長	<p>（挨拶）</p>
事務局（河西）	<p>多くのご意見をいただきまして、ありがとうございました。このような機会は大変重要だと考えており、引き続き忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第1回所沢市保健医療計画推進委員会を閉会します。ありがとうございました。</p> <p>（閉会）</p>